

- ☑ 環境省初の消費者キャンペーン「選ぼう！3Rキャンペーン」
- ☑ 絶滅危惧種の保全・回復に向けて～千葉県のヒメコマツ回復計画～

資源循環 TOPICS

環境省初の消費者キャンペーン「選ぼう！3Rキャンペーン」が全国1,000店舗以上で展開中～毎日のお買い物からはじめる新スタイル～

環境省では、3Rの取組の推進を目的とした「選ぼう！3Rキャンペーン」を、10月の「3R推進月間」を中心とした9月から11月にかけて、全国1,000店舗以上で実施しています。

環境省が自ら初めて手掛けた消費者向けキャンペーンであるこの取組は、お買いものを通じて、お客様一人ひとりが、3Rや資源の大切さを認識・共感し、日頃の行動（商品選択）へ結びつけることを目的としています。



<キャンペーン概要>

- 実施期間 : 9月4日(月)～11月30日(木)
- 企画概要 : 対象商品（省資源・リサイクル商品）の購入金額に応じてキャンペーン景品（食品リサイクルで生産された農産品や再生資源を使ったエコ家電）を抽選でプレゼント
- 協力企業 : 旭化成(株)、ミヨシ石鹼(株)、ユニリーバ・ジャパン(株)、ライオン(株)、ロート製薬(株)
- 実施店舗 : 首都圏…イオン、イチコ、くすりの福太郎、ココカラファイン、島忠
中部・近畿…ヤマナカ、ユニー、ケアーズ
中四国…キヨーエイ、タイム、丸合
九州…ナフコ、ミスターマックス

このキャンペーンについて、詳しくは特設ホームページに掲載されていますので、下記リンクから参照ください。

<http://www.re-style.env.go.jp/3r-campaign/>

また、実施店舗のうち中部地区のユニーが展開する「アピタ」「ピアゴ」では、対象商品の売上に応じてSEFへの寄附を計画して頂いています。その詳細については、次号以降のニュースレターでご紹介予定です。

絶滅危惧種の保全・回復に向けて～千葉県のヒメコマツ回復計画～

千葉県では、県内の絶滅危惧種のうち、特に生息・生育状況が悪化している種を対象に、協議会を設置して検討を重ね、平成 22 年から 2 つの種を対象として回復計画を定め、絶滅危惧種の保全・回復に向けた取組みを推進しています。

その対象の 1 つであるヒメコマツはゴヨウマツ（五葉松）とも呼ばれ、1970 年頃までは房総丘陵に数千本も生育していたとされています。山地性の常緑の高木で、樹高約 3m、胸高直径 1m に達するマツ科の針葉樹です。房総丘陵の個体群は、本種の標高的な分布下限であるとともに、気候的に最も温暖な地域の一つに分布する特異な個体群として、学術的に非常に重要です。しかし、房総半島のヒメコマツは、1970 年代以降マツ材線虫病の影響などにより急激に個体数が減少し、現在、自生する成木は 80 本程度となってしまいました。また、自生する若い個体はほとんどなく、天然更新がさまざまな要因により阻害されていることが明らかとなり、県内の個体群の絶滅が危惧されています。



生き残ったヒメコマツ

これを受けて、千葉県では生活環境部自然保護課内に設置している生物多様性センターが中心となって、平成 22 年 3 月に回復計画を策定し、以降回復計画に基づいて回復事業を進めています。

【主な取組】

- ヒメコマツ保全協議会の開催（課題の検討、計画の見直しなど）
- 生体個体の保全（材線虫予防対策）
- 系統保存個体の維持管理
- 試験植栽、補強試験
- ヒメコマツ系統保存サポーターの募集、苗の配布
- 生体個体および生育環境のモニタリング
- 基礎的調査研究（遺伝的多様性の解明）
- 観察会の実施

千葉県のヒメコマツ回復計画について詳しくは、下記リンクより千葉県生物多様性センターのホームページを参照ください。

<https://goo.gl/QdfrcP>

また、SEF はこの趣旨に賛同し、平成 27 年度に募集された「第一次ヒメコマツ系統保存サポーター」に応募し、2 本の苗木をお預かりして日向の森で育てています。定植から約 2 年弱を経過し、お預かりした時には約 50 cm だった樹高も、10 月現在で約 100 cm まで順調に成長しています。



日向の森のヒメコマツ

ゼロエミッション研究会 第5回勉強会を10月17日（火）に開催しました

SEFでは、排出事業者の立場から廃棄物・資源循環の課題に“本気”で向き合い、解決への道筋を導き出す場として、「ゼロエミッション研究会」を立ち上げ、6月から毎月1回勉強会を開催しています。

10月17日に開催した第5回勉強会では、神奈川県相模原市で食品リサイクル（飼料化）事業に取組み、今年6月にはベルリンで開催されたG7ワークショップにおいて、また8月にはニューヨークの国連本部で開催されたハイレベル政治フォーラムにおいて食品ロス対策の先進的な取組としてプレゼンテーションを行った、日本を代表するエコフィード（食品リサイクル飼料）の第一人者、株式会社日本フードエコロジーセンター代表取締役社長の高橋巧一氏を講師に迎えました。高橋氏は長年SEFの理事を務められ、平成29年6月からは顧問としてSEFの活動にご協力頂いています。

前半は、飼料化事業を展開する一方で、平成28年度より再生利用事業者（食品リサイクル事業者）の業界団体である「全国食品リサイクル登録再生利用事業者事務連絡会（全食り事務連）」の代表をつとめる高橋氏に、「再生利用事業者の最新事情～資源循環パートナーの賢い選択方法～」というテーマで講演いただきました。

日本フードエコロジーセンターの飼料化事業紹介のほか、食品リサイクルに関する国内外の最新動向、また昨年1月に発覚した食品廃棄物の不正転売事件を受けて全食り事務連では環境省等の要請を受けて業界自主基準の策定を進めていることなどが示されました。



そして後半のワークショップでは、SEF 志岐理事がファシリテーターを務め、前半の講演内容を振り返りながら、

- ◆ 昔は当たり前の「残飯養豚」～生産者・販売者・消費者間のギャップ
- ◆ 再生利用事業者見極めのポイントは「コミュニケーション力」
- ◆ 食品リサイクル推進には「利活用の多様化」が不可欠

といった内容について、高橋氏や参加者10名との議論が交わされました。特に、今回は食品リサイクルの具体的な手法や課題についての質疑応答が多く活発なワークショップとなり、参加者の疑問解決にお役立ちできたと感じています。

ゼロエミッション研究会 第6回勉強会は11月14日（火）開催予定です

このゼロエミッション研究会では、各回とも廃棄物・資源循環に関する専門家を講師に招き、最新の情報やノウハウを学ぶことができるほか、ワークショップを通じて排出事業者としてこれからの廃棄物管理・資源循環にどう主体的に取り組んでいくかを共に考える機会を提供してまいります。第6回勉強会は下記の概要にて開催予定です。新たに年間受講を申込み頂いた方には、過去開催分の映像と資料をご用意しておりますので、ぜひお得な年間受講をご検討ください。

ゼロエミッション研究会 第6回勉強会 開催概要

日程

平成29年11月14日（火）

15:00～18:00（受付14:30～）

プログラム

15:00～16:30 講演

ゼロエミッションの実現に向けたサプライチェーン連携の重要性を考える

講師：神戸大学大学院経済学研究科 教授 石川雅紀 氏

16:30～18:00 ワークショップ

～バリューチェーン全体で考える食品ロス削減に向けた課題とその対策①～

ファシリテーター：株式会社ガイアドリーム代表取締役 志岐 秀明 氏

会場

トレジャーリンク会議室 東京都中央区京橋 2-6-16 エターナルビル 3F

<アクセス> 【銀座線】京橋駅 6番出口徒歩 1分

【浅草線】宝町駅 A6 出口徒歩 2分

【有楽町線】銀座一丁目駅 7番出口徒歩 5分

対象者・定員

対象者：企業の環境・総務部門担当者

定員：20名（先着順）

参加費

【年間受講料】一般：80,000円 会員・SEF-Netユーザー：50,000円

【1回受講料】一般：10,000円 会員・SEF-Netユーザー：6,000円

※年間受講料は、参加回数に応じた割引制度を設けています。

お申込み

お申込みはお電話・FAX・メール・ホームページ、いずれでも承ります。御社名、お名前、ご連絡先を事務局までご連絡ください。

<http://save-earth.or.jp/archives/5201>

皆様のご参加をお待ちしております。

日向の森（千葉県山武市）

アピタ市原店（ユニー）お客様対象の環境体験イベントを開催しました

ユニー株式会社様では毎年、全国の総合スーパー「アピタ」において『衣料品引取企画』を実施され、引取点数に応じた金額を環境貢献団体に寄附されるお取組みを展開されていますが、昨年度よりその寄附先に SEF の森林再生事業をお選びいただいています。

このご縁もあり、昨年に続き、日向の森での森林散策と山仕事体験を主なプログラムとした環境体験イベントを企画いたしました。今年は「アピタ市原店」のお客様 11 組 28 名のご家族にご参加いただきました。

開会式のあと、2 班に分かれて森歩きと山仕事体験をスタートしました。



森林散策ではビンゴカードを使って、ミツバやサンショウなどののいかいだり、キノコを見つけて触ってみたり、鳥や虫の鳴き声を聴いたり、保護者の方も子どもたちとともに童心に帰って、自然観察を楽しんでいただきました。

山仕事体験では、千葉県森林組合のスタッフにご指導いただき、サンプスギの間伐を体験。チェーンソーの迫力に圧倒されつつ、最後は皆の力を合わせてロープを引き、切り倒すことができました。その後、ノコギリを使って丸太切り体験。サンプスギの輪切りをお土産にお持ち帰りいただきました。



最後に記念植樹として、昨年のイベントで植樹した「ヤマザクラ」2 本の手前に、今回は千葉県の木である「イヌマキ」を 2 本植樹しました。

昼食をはさみ、午後はワタミグループの協力で近くのワタミファーム山武農場へ。カブやベビーリーフ、そして落花生の収穫体験をお楽しみいただきました。

「自然の恵みのありがたさ」「いろいろな生き物と一緒に生きていること」を学ぶ環境学習の機会として、ユニー様と企画したこのイベント。雨雲を吹き飛ばすほどの子どもたちの笑顔があふれた、素敵な一日となりました。

東御の森（長野県東御市） 中学2年生の森林林業体験学習プログラムを実施しました

郁文館夢学園様（東京都文京区）の森林林業体験学習プログラム。10月は、中学2年生のプログラムをコーディネートしました。

テーマは「森の生物多様性を知るための手法を知る（生きもの視点の環境評価）」でした。



事前レクチャーでは、「トンボ」を例にした生き物評価について学びました。体験は、森内を流れる所沢川（しょざわがわ）で水生生物を採取した後、双眼実体顕微鏡などを使っての観察。いろいろな質問がとびかい、プログラムを担当した(株)Biotop Guildのスタッフは対応に追われていました。このプログラムは『森から学ぶ』を全体テーマとし、森での体験活動から「持続可能な森づくり」「循環型社会」「生物多様性」について、学び、考えることが目的です。



長野大学環境ツーリズム学部の自然調査演習を実施～所沢川の水生生物・水質調査～

10月2日、長野大学環境ツーリズム学部の学生による自然調査演習が実施されました。森内を流れる所沢川で水生生物の採取や水質検査を行いました。今後の授業で分析し、所沢川調査地点における水環境の現状について考察した報告書としてまとめて頂く予定です。



11月・12月 森林保全活動のお知らせ ★★★★ボランティアさん募集中！★★★★



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日（東京駅から送迎いたします！）に定例活動を行っているほか、兵庫県丹波市、大分県臼杵市でも定期的に実施しています。直近の活動は下記を予定していますので、ぜひご参加下さい。

<11月・12月の活動予定>

- 千葉県山武市
11月…11日（土） 12月…9日（土）
兵庫県丹波市 11月…開催予定はありません 12月16日（土）
- 大分県臼杵市 11月18日（土）

※日程は変更となる可能性があります。最新の情報はホームページを参照ください。
ホームページはコチラをクリック…<https://qoo.qi/uEt3CZ>



企業・団体向け森林体験プログラム 「森活」のご案内

SEFでは、企業や団体の皆様向けに「森活」をご提案しています。“森”での“活”動を通して、社会貢献活動の一環としての取組みに、またチームの関係性の基盤づくりや強化に、さらにはリラックス・リフレッシュのための福利厚生など、様々な効果につなげることができると考えています。皆様のご要望に応じたメニューをご提案いたしますので、まずはお気軽に事務局までお問い合わせください。

「森活」ってどんなことをするの？

季節に応じて、様々なプログラムをご用意しています。



植樹



下草刈り



間伐



ツル切り・枝打ち